

牛肉



茨城県 公益社団法人 茨城県畜産協会 『常陸牛をベトナム、タイへ(初輸出)』

【主な品目】

牛肉

【主な輸出先国・地域】

ベトナム、タイ

【輸出取組の概要】

- ◆平成26年8月下旬にジェット口茨城所長が講師をつとめた「和牛輸出セミナー」をきっかけに、常陸牛の輸出機運が盛り上がり、知事のベトナム訪問にあわせ、トップセールスで売り込む戦略を構築。
- ◆同所長の前任地がベトナム(ハノイ事務所)だったことから、駐在期間中に培ったネットワークをフル活用し、現地輸入商社と直接交渉。商社の卸し先まで探したことにより平成26年10月にハノイのホテルに初輸出が実現。平成27年5月からタイへも輸出が始まった。

【輸出実績】

	輸出量	出荷時期
平成26年度	401 Kg	平成26年10月 ～平成27年3月
平成25年度	0	実績なし



常陸牛販売推奨店の海外
1号店の授与式(ハノイにて。
中央は橋本 茨城県知事)

【取り組む際に生じた課題】

- ・海外市場(販売先)に関する情報の不足。
- ・海外(ベトナム)政府が認定した「と畜施設」の不足。
- ・更なる輸出拡大のためのノウハウ不足。

【生じた課題への対応方法】

- ・海外駐在経験のあるジェット口職員から情報提供、現地輸入商社を紹介した。
- ・ベトナム政府認定の「と畜施設」を県内に設けるべく在日ベトナム大使館と協議。
- ・現地輸入商社に正しい商品知識を身につけてもらうことが販路拡大につながる事から、茨城県に招聘し、牛舎など生産現場を視察。



現地輸入商社を茨城県に
招聘し、と畜施設や牛舎
などを視察した結果、更なる
輸出拡大につながった。

【取組の効果】

- ・常陸牛として初めて海外輸出が実現した。
- ・茨城県中央食肉公社がベトナム政府認定の「と畜施設」となった。
- ・現地輸入商社が他の和牛ブランドとの違いを理解、追加発注を獲得した。

【今後の展望】

- ・ベトナムに続きタイへの輸出が始まったが、更に北米市場への輸出も検討中。
- ・県内に認定「と畜施設」が出来たので、今後効率的に輸出できるようになる見込み。
- ・海外における常陸牛販売推奨店を確実に増やし、安定的な輸出拡大を目指す。

【活用した施策・支援】 バイヤー招聘事業およびTHAIFEX2015に参加(平成27年)

【ウェブサイト】<http://ibaraki.lin.gr.jp/>

【連絡先】—